



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月4日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 遠山 邦彦 (TEL) 059(226)1193
 定時株主総会開催予定日 2025年5月21日 配当支払開始予定日 2025年5月1日
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	48,393	21.3	2,455	4.8	1,692	8.5	1,816	3.7	1,133	9.0
2024年2月期	39,900	17.7	2,343	31.9	1,559	66.7	1,751	42.7	1,039	36.9

(注) 包括利益 2025年2月期 1,050百万円(△24.0%) 2024年2月期 1,381百万円(66.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	301.35	—	8.3	5.5	3.5
2024年2月期	276.70	—	8.2	5.9	3.9

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 -百万円 2024年2月期 -百万円

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	34,231	14,712	41.2	3,747.70
2024年2月期	31,659	13,841	41.8	3,523.25

(参考) 自己資本 2025年2月期 14,097百万円 2024年2月期 13,240百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	1,198	△1,134	△1,027	6,639
2024年2月期	4,277	△3,218	277	7,589

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00	169	16.3	1.3
2025年2月期	—	25.00	—	40.00	65.00	244	21.6	1.8
2026年2月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00		36.1	

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,300	16.0	900	8.7	870	2.0	550	△22.5	146.20
通期	52,500	8.5	1,950	15.2	1,900	4.6	1,250	10.3	332.29

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年2月期	4,070,000株	2024年2月期	4,070,000株
2025年2月期	308,273株	2024年2月期	311,873株
2025年2月期	3,760,277株	2024年2月期	3,757,709株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年3月1日～2025年2月28日)における我が国の経済は、物価上昇が継続するなか、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、企業収益も改善基調を辿り、景気は緩やかに回復してきたものとみられております。今後は、国内における利上げの継続や米国の通商政策による影響等、国内外の様々な環境変化に注視していく必要があるものの、国内の物価高がやや落ち着き、実質賃金の改善が進むことから個人消費を主体に国内景気は緩やかな回復基調が続くとみられております。

このような環境のもと、当社グループは足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速に取り組むとともに、患者さま、利用者さまの安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

主力の調剤薬局事業において、当社中核子会社である株式会社メディカルー光が、2024年6月に株式会社京寿薬品(本社：京都府京田辺市)を連結子会社化(孫会社化)しました。同年10月には三重県薬剤師会が運営する会営薬局津調剤薬局と同久居調剤薬局の事業譲受けを実施しました。

また、ヘルスケア事業において、当社子会社である株式会社メディカルケアー光が、2024年7月に東京都で介護事業を展開する共創未来メディカルケア株式会社より、介護施設の事業譲受けを実施しました。本件は、当社グループにおける初めての東京都内の介護事業案件となりました。

更に、医薬品卸事業において、株式会社メディカルー光が、2024年10月に株式会社佐藤薬品販売(本社：埼玉県川口市)、株式会社若松薬品(本社：香川県高松市)を、2025年1月には、京葉沢井薬品株式会社(本社：千葉県芝山町)をそれぞれ連結子会社化(孫会社化)しました。

このように当連結会計年度において、当社グループは「調剤薬局」「ヘルスケア」「医薬品卸」の主力3事業全てにおいて、積極的なM&Aを展開し規模拡大を推し進めることで、グループ全体の一層強固な事業基盤構築に向け着実に布石を打ってまいりました。今後も、厳しい経営環境の中、M&Aを中心とする事業規模拡大を図り、同日付で公表しました中期経営計画(2026年2月期～2028年2月期)に基づき、計画最終年度には連結売上高600億円、営業利益25億円の達成を目指す方針を掲げております。

なお、グループ全体の拠点網は、当連結会計年度末において、東京都を含む1都1道2府22県の地域に拡大しております。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高48,393百万円(前年同期比21.3%増)、営業利益1,692百万円(前年同期比8.5%増)、経常利益1,816百万円(前年同期比3.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,133百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当連結会計年度の既存店舗の処方箋応需枚数は前年同期比減少しました。前連結会計年度は2023年5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行した影響から受診抑制の緩和が進み処方箋枚数の増加に繋がったことが背景にあります。一方、当連結会計年度は、株式会社京寿薬品の連結子会社化や三重県薬剤師会の会営薬局2店舗の事業譲受け等が寄与し、部門全体の売上高は増収を確保しております。しかしながら、収益面においては薬価改定の影響等が大きく、M&Aが収益をカバーする状況には至りませんでした。

この結果、売上高24,709百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益1,234百万円(前年同期比12.2%減)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの調剤薬局は合計100店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスともに、既存施設の入居率や稼働率は概ね横這いに推移したものの、施設単価の上昇に加え、東京都内の介護施設の事業譲受け効果もあり、部門全体の売上高は増収を確保しました。一方、収益面では、2025年3月に三重県桑名市に新規開設したハーモニーハウス桑名の建設費用が嵩んだこともあり、部門収益は減益となりました。

この結果、売上高8,121百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益163百万円(前年同期比6.0%減)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの居住系介護サービスは、合計43施設(居室数1,435室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所26ヶ所、居宅介護支援事業所16ヶ所、小規模多機能ホーム11施設、福祉用具レンタル・販売5拠点、訪問介護事業所8ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2023年4月からの急激な原価率の上昇が当連結会計年度の後半にはもう一段の原価上昇を余儀なくされ、収益環境は前連結会計年度以上に厳しい状況に直面しております。こうしたなか、2023年9月に実施しました株式会社メディカルー光と西部沢井薬品株式会社との事業統合効果を早期に発揮すべく、組織体制の見直しと販売力の強化に注力してまいりました。また、2024年10月に株式会社佐藤薬品販売と株式会社若松薬品を、2025年1月に京葉沢井薬品株式会社を相次ぎ子会社化し、原価の高騰を規模拡大によりカバーしていく体制を構築してまいりました。

この結果、売上高15,357百万円(前年同期比82.0%増)、営業利益344百万円(前年同期比95.4%増)となりました。(内部売上を含む売上高は16,198百万円となり、前年同期比で74.0%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高203百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益137百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益117百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として845百万円を消去するとともに、全社における共通経費として188百万円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は34,231百万円となり、医薬品卸事業における子会社取得等により前連結会計年度末と比較して2,572百万円増加いたしました。

流動資産の合計は17,965百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,242百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が1,429百万円、商品が462百万円、流動資産のその他が288百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が931百万円減少したこと等によるものです。固定資産の合計は16,266百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,330百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物(純額)が846百万円、投資有価証券が308百万円、のれんが123百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債合計は19,519百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,701百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が668百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が429百万円、電子記録債務が291百万円、流動負債のその他が183百万円、未払法人税等が154百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産合計は14,712百万円となり、前連結会計年度末と比較して870百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が944百万円が増加したものの、その他有価証券評価差額金が100百万円減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して964百万円減少し6,639百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで1,198百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで1,134百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで1,027百万円減少したことによるものです。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,198百万円(前年同期比3,078百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,901百万円、減価償却費・のれん償却額763百万円、減損損失203百万円などの増加要因と、法人税等の支払673百万円、売上債権の増加401百万円、仕入債務の減少343百万円、棚卸資産の増加127百万円などの減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,134百万円(前年同期比2,084百万円の支出減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入571百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入545百万円、差入保証金の回収による収入177百万円などの増加要因と、有形固定資産の取得による支出997百万円、投資有価証券の取得による支出848百万円、事業譲受による支出112百万円などの減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1,027百万円(前年同期は277百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の純減少415百万円、短期借入金の純減少397百万円、配当金の支払187百万円などによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率(%)	36.7	39.1	43.8	41.8	41.2
時価ベースの自己資本比率(%)	39.6	32.9	35.4	27.7	24.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	6.5	10.0	7.0	2.2	8.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	33.8	19.2	26.1	79.2	18.4

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、本日付で公表しました中期経営計画『Re-Start 1, 2, 3 (ワン・ツー・スリー) 計画』に基づき、当社設立第41期(2026年2月期)目から3年間において、成長を加速し、計画最終年度である2028年2月期迄に売上高600億円、営業利益25億円を目指してまいりの方針です。具体的な施策としましては、①2025年2月期迄に取り組んでまいりました主力3事業における積極的なM&Aによるトップラインの引き上げ、②統合効果を早期発現し、業務効率化の促進と原価・販管費を低減、③調剤薬局の新規店舗および介護施設の開設、④主力3事業のシナジーを活かしたビジネスモデルの拡充、を実施してまいります。

そのうえで、まず中期経営計画の初年度である2026年2月期においては、当連結会計年度において進めてまいりましたM&A効果の最大化により、売上高52,500百万円、営業利益1,950百万円、経常利益1,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,250百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,700,231	6,768,998
受取手形	10,959	7,439
売掛金	6,049,119	7,478,539
商品	1,752,891	2,215,859
その他	1,212,036	1,500,685
貸倒引当金	△2,488	△6,487
流動資産合計	16,722,750	17,965,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,490,947	13,676,578
減価償却累計額	△7,348,125	△7,687,419
建物及び構築物（純額）	5,142,822	5,989,158
車両運搬具	124,286	141,377
減価償却累計額	△106,988	△97,863
車両運搬具（純額）	17,297	43,513
工具、器具及び備品	1,744,515	1,762,562
減価償却累計額	△1,450,641	△1,465,575
工具、器具及び備品（純額）	293,873	296,987
土地	3,576,751	3,588,121
建設仮勘定	85,818	124,233
有形固定資産合計	9,116,563	10,042,014
無形固定資産		
のれん	692,838	816,413
その他	167,456	173,199
無形固定資産合計	860,294	989,612
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097,193	2,405,444
関係会社株式	10,000	-
繰延税金資産	464,957	521,054
敷金及び保証金	1,222,452	1,167,481
その他	1,165,278	1,141,133
投資その他の資産合計	4,959,882	5,235,113
固定資産合計	14,936,740	16,266,740
資産合計	31,659,490	34,231,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	125,890	6,414
買掛金	4,772,001	5,440,590
電子記録債務	333,540	625,034
短期借入金	1,345,000	1,180,000
1年内返済予定の長期借入金	2,349,864	2,609,852
未払法人税等	380,593	535,143
賞与引当金	276,259	266,885
その他	820,856	1,004,744
流動負債合計	10,404,006	11,668,666
固定負債		
長期借入金	5,717,480	6,052,443
リース債務	166,606	175,552
退職給付に係る負債	1,016,554	1,100,344
その他	513,653	522,634
固定負債合計	7,414,294	7,850,975
負債合計	17,818,300	19,519,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,081,749	1,085,044
利益剰余金	11,447,448	12,391,773
自己株式	△537,933	△531,724
株主資本合計	12,908,264	13,862,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332,990	232,084
退職給付に係る調整累計額	△406	3,682
その他の包括利益累計額合計	332,584	235,766
非支配株主持分	600,341	614,273
純資産合計	13,841,190	14,712,134
負債純資産合計	31,659,490	34,231,775

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	39,900,988	48,393,487
売上原価	35,349,135	42,649,129
売上総利益	4,551,853	5,744,358
販売費及び一般管理費	2,992,629	4,052,329
営業利益	1,559,223	1,692,028
営業外収益		
受取利息	1,650	7,745
受取配当金	46,080	65,017
助成金収入	149,973	99,586
その他	63,587	62,379
営業外収益合計	261,291	234,728
営業外費用		
支払利息	54,018	63,847
その他	14,602	46,815
営業外費用合計	68,620	110,663
経常利益	1,751,894	1,816,093
特別利益		
固定資産売却益	975	77,852
投資有価証券売却益	123,392	117,814
関係会社株式売却益	49,260	-
補助金収入	2,480	-
受取和解金	-	110,000
特別利益合計	176,108	305,666
特別損失		
固定資産売却損	2,794	207
固定資産除却損	6,074	1,677
減損損失	228,806	203,206
固定資産圧縮損	2,480	-
役員退職慰労金	-	6,500
投資有価証券売却損	6	808
投資有価証券評価損	5,174	-
ゴルフ会員権評価損	20,000	4,000
賃貸借契約解約損	-	3,766
特別損失合計	265,336	220,166
税金等調整前当期純利益	1,662,666	1,901,594
法人税、住民税及び事業税	703,846	794,136
法人税等調整額	△122,775	△39,661
法人税等合計	581,070	754,474
当期純利益	1,081,595	1,147,119
非支配株主に帰属する当期純利益	41,808	13,953
親会社株主に帰属する当期純利益	1,039,786	1,133,165

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益	1,081,595	1,147,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305,154	△100,927
退職給付に係る調整額	△5,474	4,088
その他の包括利益合計	299,680	△96,838
包括利益	1,381,275	1,050,280
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,339,443	1,036,348
非支配株主に係る包括利益	41,831	13,931

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	1,081,272	10,557,964	△539,830	12,016,406
当期変動額					
剰余金の配当			△150,303		△150,303
親会社株主に帰属する当期純利益			1,039,786		1,039,786
自己株式の処分		477		1,897	2,374
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	477	889,483	1,897	891,858
当期末残高	917,000	1,081,749	11,447,448	△537,933	12,908,264

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27,858	5,068	32,926	558,509	12,607,842
当期変動額					
剰余金の配当					△150,303
親会社株主に帰属する当期純利益					1,039,786
自己株式の処分					2,374
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	305,131	△5,474	299,657	41,831	341,488
当期変動額合計	305,131	△5,474	299,657	41,831	1,233,347
当期末残高	332,990	△406	332,584	600,341	13,841,190

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	1,081,749	11,447,448	△537,933	12,908,264
当期変動額					
剰余金の配当			△187,996		△187,996
親会社株主に帰属する当期純利益			1,133,165		1,133,165
自己株式の処分		3,294		6,209	9,504
連結範囲の変動			△844		△844
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3,294	944,325	6,209	953,829
当期末残高	917,000	1,085,044	12,391,773	△531,724	13,862,094

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	332,990	△406	332,584	600,341	13,841,190
当期変動額					
剰余金の配当					△187,996
親会社株主に帰属する当期純利益					1,133,165
自己株式の処分					9,504
連結範囲の変動					△844
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△100,906	4,088	△96,817	13,931	△82,885
当期変動額合計	△100,906	4,088	△96,817	13,931	870,944
当期末残高	232,084	3,682	235,766	614,273	14,712,134

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,662,666	1,901,594
減価償却費	612,778	624,861
減損損失	228,806	203,206
のれん償却額	171,098	138,549
貸倒引当金の増減額(△は減少)	100	3,998
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,913	△33,215
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,261	44,428
受取利息及び受取配当金	△47,730	△72,763
支払利息	54,018	63,847
投資有価証券売却損益(△は益)	△123,385	△117,005
関係会社株式売却損益(△は益)	△49,260	-
固定資産売却損益(△は益)	1,819	△75,967
固定資産除却損	6,074	-
賃貸借契約解約損	-	3,766
売上債権の増減額(△は増加)	928,309	△401,118
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60,155	△127,058
仕入債務の増減額(△は減少)	1,747,032	△343,541
未払費用の増減額(△は減少)	52,177	24,719
預り保証金の増減額(△は減少)	△4,892	541
その他	△479,181	29,590
小計	4,779,449	1,868,433
利息及び配当金の受取額	45,981	69,134
利息の支払額	△54,632	△65,238
法人税等の支払額	△493,400	△673,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,277,397	1,198,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△303,045	△997,078
有形固定資産の売却による収入	14,298	7,564
無形固定資産の取得による支出	△21,028	△38,428
投資有価証券の取得による支出	△772,322	△848,338
投資有価証券の売却による収入	578,493	571,445
事業譲受による支出	△2,297,426	△112,488
関係会社株式の取得による支出	△10,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	38,227	545,048
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	553,648	-
長期前払費用の取得による支出	△625,509	△8,184
敷金及び保証金の差入による支出	△166,551	△31,374
敷金及び保証金の回収による収入	20,575	177,385
その他	△228,248	△400,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,218,889	△1,134,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,150,500	△397,000
長期借入れによる収入	2,150,000	2,400,000
長期借入金の返済による支出	△2,840,546	△2,815,781
リース債務の返済による支出	△31,891	△27,204
配当金の支払額	△150,303	△187,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	277,758	△1,027,981
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,336,266	△964,295
現金及び現金同等物の期首残高	6,253,102	7,589,368
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	14,380
現金及び現金同等物の期末残高	7,589,368	6,639,453

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を経営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

当連結会計年度より、各セグメントの業績をより適切に評価するために、全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	23,536,541	7,747,132	8,436,330	180,984	39,900,988	—	39,900,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	600	873,897	4,654	879,152	△879,152	—
計	23,536,541	7,747,732	9,310,228	185,639	40,780,141	△879,152	39,900,988
セグメント利益	1,405,560	173,749	176,552	131,890	1,887,753	△328,529	1,559,223
セグメント資産	6,640,338	9,689,141	4,182,689	1,672,756	22,184,925	9,474,565	31,659,490
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	173,743	368,726	6,239	32,114	580,823	31,954	612,778
減損損失	168,632	—	—	60,174	228,806	—	228,806
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	264,595	31,507	3,501	2,118	301,722	17,682	319,404

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△328,529千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,160,122千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額9,474,565千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産16,946,814千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	24,709,993	8,121,830	15,357,915	203,748	48,393,487	—	48,393,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	600	840,530	4,654	845,785	△845,785	△0
計	24,709,993	8,122,430	16,198,445	208,403	49,239,272	△845,785	48,393,487
セグメント利益	1,234,207	163,324	344,912	137,928	1,880,373	△188,344	1,692,028
セグメント資産	7,524,760	9,372,312	6,110,615	2,051,560	25,059,249	9,172,526	34,231,775
その他の項目							
減価償却費(注) 3	186,790	348,727	11,144	42,459	589,122	35,738	624,861
減損損失	140,998	62,207	—	—	203,206	—	203,206
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	199,677	790,395	23,031	—	1,013,104	60,520	1,073,624

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△188,344千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,145,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額9,172,526千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産17,805,661千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	66,383	98,030	6,684	—	—	171,098
当期末残高	6,089	686,749	—	—	—	692,838

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	24,145	93,022	21,381	—	—	138,549
当期末残高	222,686	593,726	—	—	—	816,413

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)		当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	
1株当たり純資産額	3,523円25銭	1株当たり純資産額	3,747円70銭
1株当たり当期純利益金額	276円70銭	1株当たり当期純利益金額	301円35銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	13,841,190	14,712,134
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	600,341	614,273
(うち非支配株主持分(千円))	(600,341)	(614,273)
普通株式に係る純資産額(千円)	13,240,848	14,097,860
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,758,127	3,761,727

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,039,786	1,133,165
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,039,786	1,133,165
普通株式の期中平均株式数(株)	3,757,709	3,760,277

4. その他

(1) 役員の変動

① 新任取締役候補者

取締役 澤田 堇 (本名 石田 堇) (現 タワーズワトソン(株) 年金アクチュアリー)

② 異動予定日

2025年5月21日

(2) その他

該当事項はありません。